



平成27年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイケイ

コード番号 2722 URL <http://www.ai-kei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯田 裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括

(氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-856-3101

四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第3四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成27年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第3四半期	8,987	0.8	△19	—	△18	—	△70	—
26年5月期第3四半期	8,919	△1.9	53	△65.7	50	△70.4	△55	—

(注) 包括利益 27年5月期第3四半期 △69百万円 (—%) 26年5月期第3四半期 △55百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第3四半期	△38.33	—
26年5月期第3四半期	△31.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第3四半期	4,965	1,448	1,448	1,448	29.2	777.69
26年5月期	4,425	1,480	1,480	1,480	33.4	831.98

(参考) 自己資本 27年5月期第3四半期 1,448百万円 26年5月期 1,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	18.00	18.00
27年5月期	—	0.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,100	1.2	120	14.3	120	△15.5	25	—	13.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期3Q	1,952,000 株	26年5月期	1,952,000 株
② 期末自己株式数	27年5月期3Q	88,900 株	26年5月期	172,900 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期3Q	1,832,023 株	26年5月期3Q	1,767,012 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安、株高を背景として、大企業を中心に業績改善するなど明るい兆しがみられましたが、個人消費は消費税前の駆け込み需要の反動に加え、天候不順や賃金の上昇を上回る物価上昇等により足踏み状態が続きました。

このような状況の下、当社グループはリーディングカンパニーの最大条件を「ファンの多さ」と定義づけ「ファンづくり」を経営最大のテーマとして経営理念の実践を重ねております。

メーカーバンダー事業では、雑貨商品、食品商品問わず「美容・健康」ジャンルの商材開発に注力してまいりました。また、売上に占める自社開発商品の売上比率を高めるために、管理指標として開発商品の初年度売上高寄与率を新たに設定し、開発商品の売上向上に取り組んでまいりました。

SKINFOOD事業では、フランチャイザーである韓国(SKINFOOD社)と原価交渉を行い円安進行による原価率の上昇対策を行いました。店舗戦略では「ルミネエスト新宿店」と「名古屋パルコ店」をリニューアルオープンいたしましたほか、モール型量販店への初出店となる「イオンモール名古屋茶屋店」、町田マルイ店及び出店期間限定店1店舗を出店いたしました一方、不採算店5店及び出店期間限定店2店を閉鎖いたしました結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は直営店20店舗(前年同期末24店舗)、FC店1店舗(前年同期末1店舗)の21店舗(前年同期末25店舗)となりました。

ITソリューション事業では、引き続き新商品の「Mobile First Box Access(クラウド電話帳ソリューション)」販売開始に向け、販売体制を強化するため業務提携を推し進め、販売活動に注力してまいりました。また、既存の主力商品であります通話録音システム「VOISTORE」の販売にも注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高8,987百万円(前年同四半期比0.8%増)、営業損失19百万円(前年同四半期は53百万円の営業利益)、経常損失18百万円(前年同四半期は50百万円の経常利益)、四半期純損失70百万円(前年同四半期は55百万円の四半期純損失)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間から、従来「通信販売事業」としていた報告セグメントを「メーカーバンダー事業」へ、「CRMソリューション事業」としていた報告セグメントを「ITソリューション事業」へ、それぞれ名称変更しております。この名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

<メーカーバンダー事業>

売上高は8,096百万円(前年同四半期比3.6%増)となり、営業利益は99百万円(前年同四半期比34.2%減)となりました。

<SKINFOOD事業>

売上高は741百万円(前年同四半期比22.2%減)となり、営業損失は45百万円(前年同四半期は60百万円の営業損失)となりました。

<ITソリューション事業>

売上高は149百万円(前年同四半期比1.3%減)となり、営業損失は75百万円(前年同四半期は36百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ500百万円増加しました。

主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が172百万円、「受取手形及び売掛金」が248百万円、「商品及び製品」が65百万円、それぞれ増加したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ40百万円増加しました。

主な固定資産の変動は、「有形固定資産」が12百万円、「無形固定資産」が55百万円、それぞれ増加し、「投資その他の資産」が27百万円減少したことによります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,965百万円となり、前連結会計年度末に比べ540百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ497百万円増加しました。主な流動負債の変動は、「買掛金」が53百万円、「短期借入金」が430百万円、それぞれ増加したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ74百万円増加しました。

主な固定負債の変動は、「長期借入金」が66百万円増加したことによります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は3,516百万円となり、前連結会計年度末に比べ572百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ31百万円減少しました。

主な純資産の変動は、「利益剰余金」が102百万円減少したことと、株式会社プライムダイレクトを完全子会社とする株式交換を実施したことにより、「資本剰余金」が33百万円増加し、「自己株式」が36百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月7日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に変更はありません。なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成26年8月19日開催の取締役会において、株式会社プライムダイレクトを完全子会社とすることを決議し、同日付で両社の間で株式交換契約を締結いたしました。本契約に基づき、当社は平成26年9月10日に株式会社プライムダイレクトが発行する全株式を取得いたしました。これにより同社を第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。なお、事業セグメントはメーカーベンダー事業に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,568	270,586
受取手形及び売掛金	2,149,329	2,397,377
商品及び製品	1,226,277	1,291,993
原材料及び貯蔵品	4,687	6,981
その他	157,382	169,582
貸倒引当金	△2,059	△2,175
流動資産合計	3,634,186	4,134,346
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	171,592	181,219
土地	80,216	80,216
その他(純額)	30,301	33,220
有形固定資産合計	282,111	294,657
無形固定資産		
のれん	—	59,506
その他	63,707	60,041
無形固定資産合計	63,707	119,548
投資その他の資産		
その他	455,595	427,919
貸倒引当金	△10,526	△10,631
投資その他の資産合計	445,069	417,288
固定資産合計	790,887	831,495
資産合計	4,425,074	4,965,841
負債の部		
流動負債		
買掛金	968,538	1,021,756
短期借入金	450,000	880,000
1年内返済予定の長期借入金	307,126	347,881
ポイント引当金	7,199	7,435
返品調整引当金	13,581	10,152
その他	516,866	493,185
流動負債合計	2,263,310	2,760,410
固定負債		
長期借入金	485,699	552,298
退職給付に係る負債	78,417	77,340
役員退職慰労引当金	113,905	119,287
その他	3,560	7,589
固定負債合計	681,582	756,515
負債合計	2,944,892	3,516,925

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	331,989	365,001
利益剰余金	821,443	719,194
自己株式	△75,730	△38,938
株主資本合計	1,479,452	1,447,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	729	1,909
その他の包括利益累計額合計	729	1,909
純資産合計	1,480,181	1,448,916
負債純資産合計	4,425,074	4,965,841

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
売上高	8,919,995	8,987,383
売上原価	5,433,543	5,454,582
売上総利益	3,486,451	3,532,801
販売費及び一般管理費	3,432,924	3,551,963
営業利益又は営業損失(△)	53,526	△19,162
営業外収益		
受取利息	182	226
受取手数料	3,519	3,014
為替差益	—	3,885
その他	1,882	1,200
営業外収益合計	5,584	8,327
営業外費用		
支払利息	7,070	7,388
為替差損	795	—
その他	742	—
営業外費用合計	8,609	7,388
経常利益又は経常損失(△)	50,502	△18,223
特別損失		
固定資産除却損	5,832	6,325
減損損失	37,585	4,751
特別損失合計	43,418	11,077
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,083	△29,300
法人税等	62,497	40,924
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△55,413	△70,225
四半期純損失(△)	△55,413	△70,225

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△55,413	△70,225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170	1,179
その他の包括利益合計	170	1,179
四半期包括利益	△55,242	△69,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55,242	△69,045

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年8月19日開催の取締役会に基づき、平成26年9月10日付で、株式会社プライムダイレクトを完全子会社とする株式交換を実施しました。これにより、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が33百万円増加し、自己株式が36百万円減少しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が365百万円、自己株式が38百万円となっております。